

（仮称）小田野沢風力発電事業更新計画環境影響評価準備書に対する 環境の保全の見地からの意見

- 1 コウモリ類について、バットストライクを低減する環境保全措置としてカットイン風速以下の風速時にフェザリングを行うことなどから、ブレード等への接触による影響は小さいと予測しているが、音声モニタリング調査では、当該風速以上の風速時におけるコウモリ類の通過事例回数が全通過事例回数の約4割を占めており、施設稼働時にバットストライクが発生するおそれがあることから、当該調査結果を踏まえて施設の稼働制限を行うなど適切な環境保全措置を検討し、その結果を環境影響評価書に記載すること。
- 2 バットストライク・バードストライクに関する事後調査について、調査実施前に専門家の助言を踏まえて調査方法等を検討することとしていることから、これを確実に行った上で実効性のある調査の手法を検討し、その結果を環境影響評価書に記載すること。